

ゆうかいだより No.5



和歌山県立和歌山ろう学校 2026年2月発行

寒さもやわらぎ、日ごとに春めいてきましたね。
今年度も残りわずかとなり、今の仲間と一緒に過ごすことができるのもあと少しです。
1日1日を大切に楽しく過ごしてくださいね。

みみ ひ づく 耳の日 いつ・だれが作ったの？

3月3日が耳の日ということを知っている人は多いのではないのでしょうか。

では、いつ、だれが、どのような理由で耳の日を制定したのかどこまで知っていますか。

この機会に、耳の日について詳しくなってみましょう。



日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会のWebサイトで調べたものです。

【いつ】…1956年(昭和31年)

【だれが】…日本耳鼻咽喉科学会(現在の日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会)

【理由】…難聴と言語障害をもつ人びとの悩みを少しでも解決したいという、社会福祉への願いから

他のWebサイトなどで調べてみると制定された理由が他にもいくつか出てきます。

また、日本だけではなく世界的にも3月3日を「World Hearing Day」として世界保健機関(WHO)が制定しています。

興味のある人は、自分が知らない、みんなが知らないことを調べてみて下さい。

調べる習慣があると、誰よりも物知りになれるかもしれませんね。

卒業生・社会人になるみなさまへ

ご卒業おめでとうございます。

卒業後も自分のきこえ方に変化がないか、確認のために定期通院は忘れずに行くようにしましょう。

補聴器や人工内耳、自分のきこえ方について、何か気になることがあったら病院の先生や補聴器店の方に相談してくださいね。

在校生・保護者のみなさまへ

春休みの間に通院した場合は、病院での聴力検査の結果やお医者さんからのお話を新学期に新しい担任の先生・聴能担当の先生に教えてください。